

Title	阪大法学 56巻 1号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2006, 56(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54940
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

阪大法学

論 説

情報公開と個人情報保護の交錯と谷間

——情報公開制度の下での

個人情報の本人開示をめぐる——……………松本 和彦… 1

刑事訴訟法三二〇条一項について（中）……………松田 岳士… 45

官僚制のゲーム理論分析：

『ゲームとしての官僚制』の補論として（一）……………曾我 謙悟… 67

大統領による行政コントロール

——法律外行政活動の例として——……………澤田 知樹… 89

「共通であるが差異ある責任（CBDR）」原則

——履行援助における責任の

差異化の検討を中心として——……………遠井 朗子…119

特 別 寄 稿

ドイツ近世都市ケルンの刑法

——特に市民の個人的法益を害する犯罪

及び刑法全体の特色について……………林 毅…145

淡路国大田文における承久没官地……………田中 茂樹…175

翻 訳

ルクセンブルク欧州司法裁判所による法的判断に

ついての比較法メソッド……………ヘルマン・フォッフスヘルト…203

長田 真里／訳

雑 録

法学会講演会開催記事

平成一六年度二学期試験問題

大阪大学法学部

平成一六年度二学期試験問題

高等司法研究科

第55巻 第1号

(2005年6月)

(通巻第 235 号)

大阪大学法学会